

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270401134		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム千葉小倉		
所在地	千葉県千葉市若葉区小倉町1802-15		
自己評価作成日	平成0年3月10日	評価結果市町村受理日	平成30年5月9日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成30年3月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自立支援(役割をもって生活していく) 下肢の浮腫の軽減(足浴ケア) 行事の充実(楽しみのある生活)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)入居者一人ひとりを良く知り、入居者のしたいこと・できることを見出し・して頂く、座りっぱなしにしないで一人ひとりが役割と遣り甲斐をもって生活していけるよう、縫物・食器洗い・洗濯ものたたみ・掃除・散歩・買い物・草むしりなどとケアプランにも入れて、個別の自立支援に力を入れて取り組んでいる。2)初詣・お花見・回転ずし等の外食・合同運動会や合唱祭などと毎月のように行事を実施し楽しみのある生活となる支援に努めている。3)提携医師や訪問看護との連携が密で医療健康面でも安心でき、開設以来多くの看取りも経験し、法人理念の最期まで「その人らしさを大切に」ケアを実践してきている。
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り時、唱和している	毎夕礼時に法人の3つの運営理念とその実践の為の3つのホーム独自の理念を唱和している。管理者は新しい職員一人ひとりに理念を実践出来るよう現場で先ずスキルの指導から取り組んでいる。	職員の定着化を図り、理念を実践出来る体制作りが望まれる。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	以前の取り組みを今後も継続していく 今現在ではできていない	毎月、ハーモニカや傾聴、手品などの地域ボランティアが来訪している。中学校の職場体験も2校受け入れている。地域ふれあいサロンや他事業所のお茶会、自治会の夏祭りや新年会など以前取り組んでいた地域との交流の復活を期待したい。老人会へのアプローチも行うことを検討している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域が行っている、小倉台公園でのイベントの参加を行っている。今後は小学校でのイベント参加を企画している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の参加が全く無いため、行政に相談に行きました。	ホーム内人事、入居者状況、活動報告や事故報告などを議題として、主に家族が参加して今年は3回開催している。	地域民生委員や自治会の方等地域の方の参加して頂くことを課題としている。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域の参加が全く無いため、行政に相談に行きました。	保健福祉高齢介護課担当者との連携は取れている。また、グループホーム連絡会に参加し、研修案内や入居者状況などの情報交換を行っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないよう、日常的に指導を行い、チェックをしている。	「虐待・不適切ケア」と「身体拘束」チェックシートを3ヶ月一度全職員に読ませ、気付いたことを記入させ提出させている。職員一人ひとりの虐待・不適切ケアと身体拘束への理解と認識を高めると共に常に意識し互いに注意し合えるようにしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3ヶ月毎に虐待・不適切なケアについてチェックを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年に1度研修を行っている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に具体的に説明を行っている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1度ご家族様アンケートの実施。 日頃からご家族様と面会時に話す時間を設けている。面会が少ないご家族様には電話等を行っている。	家族会を年2回、家族参加のイベントを年6回実施し、家族が意見や要望、提案を言える機会を多くしている。面会時には必ずお話を聞く時間を設けており、また、電話・メールやラインで情報交換をしている家族もいる。毎年、法人として家族アンケートを実施している。職員の勤務状況などが知りたいとの要望を受け、玄関に職員の写真と名前を掲示するようにした。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コミュニケーションを多く図っている。	管理者も職員と共に日常ケアに携わっており、職員と日頃のコミュニケーションを通して意見や要望を聞き取り反映させるようにしている。外出、行事や掲示物などは殆ど職員の意見を取り入れて実施している。困難な入居者への対応に関しても職員の意見を取り入れて退去の判断をすることもある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	3月より、役割分担をし、実施している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人員不足で実施できなかったユニット会議、全体会議など、3月より実施予定。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今現在は実施していない。愛の家グループホーム内ではヘルプスタッフをお願いし、他施設へ勉強する機会がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご利用者様とコミュニケーションを図り、記録に落とし、共有している。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>管理者、職員が面会時にご家族様と話す機会を設けている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者様の要望をご家族様に伝えることも多くある。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>役割を持った生活ができている。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご利用者様同士の関係性を築いている。 (居室移動、ユニット移動)</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>どんな方でも面会できるよう、ご家族様には声掛けを行っている。</p>	<p>家族にはどなたでも面会に来て頂いて良いことをお話している。キルトをしていた仲間の方が訪ねて来る。近所の親しかった方々が良く訪ねて来る。イベントで千葉神社に初詣でに出かけた。定期的に自宅に帰る方もいる。家族とお墓参りや買物、外食や自宅での外泊される際の支援方法を助言する等馴染みの関係を途切らせないように支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご利用者様同士の関係性を築いている。 (居室移動、ユニット移動) 看取り介護をご利用者様と一緒にしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族様が来てくださることがある。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様に合わせて居室づくりを行っている。	その人らしさを活かした生活の原点は一人ひとりの入居者の思いを知ることであり、性格や思いを深く知ることを心掛け、行動や言葉の背景を把握することを大切にしている。職員が介護記録に入居者の言葉や表情、行動を記録し、普段と違った行動等があれば赤字で記入する等、思いや意向からその人に合わせた生活リズムを作るプランへと繋げるようにしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアプランに組み込んでいる。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1時間毎に巡視をし、会話等も記録に記載している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングに実施、ご家族様の要望がケアプランに反映している。	計画作成担当者が介護記録や職員からの意見を考慮して短期目標ごとのモニタリングを3ヶ月毎に実施している。介護記録にはケアプラン(2)表が挿入されており、職員は常にケアプランを意識してケアサービスを提供しまた記録するようにしている。面会時等を利用して家族の意見を聴取しプランに反映させ、また、往診医の意見も取り入れてプランを作成している。	以前実施していた職員によるモニタリングを職員の能力に応じて再開されることが期待される。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録にケアプランを入れ、職員一人、ひとりがケアプランを理解し、記録をかけるよう工夫をしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	認知症の対応について、職員が相談できる体制を整え、アドバイスを行えるようにしている為、柔軟な対応ができています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム近隣の入居が多くなって来た為、地域の方がいつでもホームに来ていただける環境をつくっている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には常に相談、対応ができています。	入居者と家族の希望も取り入れ全入居者が往診医を主治医とし月2回受診している。事前に入居者の症状の変化や気になること、相談事項を「往診伝達事項」に記入し、また、診察時には健康管理表を見せ適切に受診できるよう配慮している。往診結果や医師の所見はホーム長が一覧表に記入し職員間の情報共有を図っている。処方変更や新たな疾患などがあれば家族に連絡している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問時に常に相談できている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院より往診医が来ているため、入院、早期退院ができる体制が整っている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様とは状態変化など、密に連絡を行っている。医師、看護師への相談等も常に行える体制が整っている。	「その人らしさを大切にすることは終末期においても変わることがない」との法人の理念に沿って、ターミナルケアになったら、その都度看取り研修を実施して対応している。この一年間で3例の看取りの実績がある。中には入居者もお部屋に行って声掛けをしてお見送りした例もある。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	新人職員には救命講習会の参加を予定している。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の参加を順に実施している。	夜間想定と昼間想定の方針の火災避難訓練を夫々1回ずつ実施している。短時間で駆けつけることのできる職員順の夜間連絡網を整備している。月1回7、週1回5、毎日点検12項目と自主点検24項目を一覧表にし点検を実施しホームから出火しないことに取り組んでいる。	夜勤専任の職員も含めて、全ての夜勤をする職員が避難訓練を体験できるよう取り組むことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様に合わせて声掛けを変えている。	上から目線にならないよう「どうでしょうか」等丁寧な言葉遣いを心掛けている。家族のように接し、入居者が言いたいことを言えるよう、決して押し付けにならないよう、選択肢を示し入居者の意向を確認してからケアに当るようにしている。特に入浴時や排泄時のケアには羞恥心に配慮するようにしている。「不適切ケア」チェック表を活用して一人ひとりの尊重やプライバシーの確保の研修もしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は常に傾聴できるよう、指導を行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を介護に変えるよう指導を行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時にご利用者様に洋服を選んで頂いている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様のリクエストメニューを実施している。	週に1日、入居者一人ひとりの希望を聞き近隣のスーパーへ食材を買いに行き、リクエストメニューを実施している。朝食はパンしか食べない入居者にはパン食としている。入居者の食事量に合わせて主食と副食の量を調整し完食できる様にしている。食器洗いや食器拭き、下膳など一人ひとりの出来ることを手伝っている。おせち等の季節を感じる行事食を楽しむ他、お好み焼きや餃子作りなど一緒に料理する支援にも力を入れている。月1回はお寿司を食べに行く等外食を楽しんでいる。畑で収穫した新鮮な野菜が食卓に出るのも大きな楽しみである。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様に合わせて水分の提供を行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者様に合わせて口腔ケアを実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツから布パンツに変更した方もいる。	出来る限り布パンツで生活させてあげたいとの考えの下、立位が取ればトイレでの排泄にこだわって支援している。オムツで入居した方が歩行訓練と声掛け誘導を継続する支援を続け3ヶ月で布パンツとパットで自立排泄できるまで改善した。夜間排泄をする所との認識をして安心して排泄が出来、体力も保持するために夜間のみ認知症が進む前の早い段階からポータブルトイレをお部屋に用意しうまくいっている方が5名いる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳の提供や、ヤクルト、ヨーグルト、イモ類など、食事の際に提供している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者様に確認し、入浴を実施している。	原則週3回の入浴している。朝一番風呂が好きな方、午後ユックリ入りたい方等に対応している。一人ひとりお好きな湯の設定温度に変えている。入浴剤やゆず湯を楽しんだり見守りをしながら会話や歌を歌う等お風呂を楽しんでいただいている。ターミナルケアの方も週1回は入浴している。毎晩足浴をしてよく眠れる方もいる。毎週日曜日には足浴をし下肢の浮腫の軽減に繋げている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠剤ではなく、夜間も職員が寄り添い、一人、ひとりご利用者様に合わせ、入床時間を変えている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は、職員が把握できるよう、ファイルをいつでも観覧できるようにしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ケアプランに反映している。いつでも外に出られる環境をつくらせている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホームの近隣の方が入居できるように支援しているため、歩いてご家族様に家に帰っているご利用者様もいる。	ケアプランに沿って毎日散歩や外気浴を日課としている入居者や買物やおやつを買いに外出する入居者、定期的に自宅に帰る入居者など日常的にそれぞれに応じて外出している。また、畑仕事を手伝う入居者など、外に出て気分転換を図ると共に五感刺激による自立への意欲増進にも繋げている。初詣や季節毎のお花見、合同運動会、合唱祭など毎月のように外出イベントも実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	セブンイレブンやパン屋などお財布を持ち、買い物に行かれる支援をしている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様が、定期的に電話して下さる。契約時に御本人の訴え時に電話支援をお願いしている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除の徹底を行っている。	採光の良い明るいリビングでは入居者同士が会話を楽しみ、ソファや廊下のコーナーのスペースで思い思いにくつろいでいる。季節を肌で感じていただけるよう、エアコンの温度は低めに設定している。居心地の良い空間とするため、先ず掃除を徹底し清潔にすることを大切に、また、入居者同士の人間関係には特に気を配り、席替えは勿論時にはフロアを変えることもある。庭に広い畑があり、さやえんどうや夏野菜などを入居者と一緒に収穫し食材とし季節感を味わっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室移動など、ご家族様に相談し行っている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になるべく、家で使っていたものを持って来ていただけるようお話し、引っ越し等のお手伝いも行っている。	仏壇や使い慣れたテーブル、家具などが家族の協力で居室に自由に持ち込まれている。電子レンジや冷蔵庫も持ち込まれ、仲の良い入居者や職員と一緒に茶やワインを楽しんでいる方もみられる。入居者の好みや習慣に応じてベッドや家具の配置を考え、自分の空間を感じてもらえるように配慮している。居室の前には本人の顔写真や行事の写真、手作りの木製の名札が飾られ、混乱せず入室できるようにしている。自分で室内の掃除をする入居者も多く、職員のサポートにより清潔な居室づくりが行われている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関の段差など、ご利用者様がわかるよう工夫をしている。トイレや居室も理解するまで工夫をしている。		